

12月の 休日夜間在宅当番医

(内科)

7日	14日	21日	28日
山谷医院	霜鳥医院	小林医院	堀 医院
(2)0371	(2)0579	(2)0562	(6)2133

(外科)

7日	14日	21日	28日
石川医院	佐々木医院	岩崎医院	金井医院
(6)2140	(2)2357	(2)1122	(2)0116

◆照会は中之島村役場 ☎02586-6-2002
◆救急車の要請は与板郷消防署 ☎025872-2572

有利な商工制度資金を!!

●地方産業育成資金 ●中小企業振興資金

貸付限度額	300万円以内	貸付限度額	運転 100万円以内 設備 300万円以内
貸付利率	県保付 年7.5% その他 年8.08%	貸付利率	年8.25%
貸付期間	3年以内	貸付期間	運転 3年以内 設備 5年以内
保証人	2名以上	保証人	1名以上

詳しくは産業課又は商工会へお問い合わせを。

56年度の 農業用軽油免税証 交付申請がはじまります

56年度も今年度と同様一括販売店で手続することになりましたので、必要書類を持参のうえ販売店で申請手続きを行ってください。
(原則として個人の受付はいたしません。)

1. 申請に必要な書類等

必要な書類等	申請者		継続申請者	
	新規申請者	機械及び構成員を変更する者	継続申請者	その他の者
①免税軽油使用者証	×	○	○	○
②免税軽油使用者証交付申請書	○	×	×	×
③免税軽油使用者証の登録事項変更申請証	×	○	○	×
④免税証交付申請書	○	○	○	○
⑤機械所有証明書	○	○	○	○
⑥耕作面積証明書	○	○	○	○
⑦印鑑	○	○	○	○

注) ※新規申請者とは、初めて免税証の交付申請を行なう者。(免税軽油使用者証を持っていない者)
※継続申請者とは、今まで免税証の交付を受けたことがある者。(免税軽油使用者証を持っている者)
※機械所有証明書とは、税務課、又は農機具販売店で、農業用機械を所有または、販売したことを証明した書面。
※耕作面積証明書とは、税務課で申請者の耕作面積を証明した書面。
※印鑑は、新規申請及び継続申請を問わず全てを販売店に提出すること。

2. 申請受付期間(販売店でとりまとめる期間)
昭和55年12月1日～昭和56年1月15日

お詫び
先月号の「あの人この人」で、見出しの名字が「丸山信市さん」となっていました。佐藤信市さんの誤りでした。ここに訂正して、深くお詫びいたします。



広 報

なかのしま

11月号 南蒲原郡中之島村役場
編集と発行 中之島村役場企画課
〒954-01 ☎02586(6)2002

村内交通事故状況
()内は前月比

	件数	死者	傷者
55年	19 (1)	2 (0)	18 (2)
54年	28	0	30
53年	31	3	32



菊
薫る
秋

人口のうごき

10月31日現在
()内は前月比

人口	11,247人 (-6)
男	5,512人 (-10)
女	5,735人 (+4)
世帯数	2,231戸 (-2)

今月の納税
▷保育料 (11月分)

一休日夜間在宅当番医の診療時間は原則として午前9時～午後5時までですー

議会報告

九月定例村議会

村議会の九月定例会の本会議が九月二十四日午前十時から開かれ、塩入議員、大野議員、小林議員、葦沢議員、鈴木議員、羽賀議員の六議員により村政に対する一般質問が行われた。その要旨について掲載します。

一般質問と答弁(要旨)



塩入栄吉 議員

農業振興地域の見直しを

▼現在のようになり米の事情が悪化してきますと、とて二町や三町では農業はやっていけないというのが現在の情勢であり、どうしても農外収入に頼らざるを得ないことから、工場等を誘致することにより、安心して農外収入を得られるような方法を考えることが村の将来のためになると思えます。しかし、現在のようない農振法がかかっているのは、せつかく先か

ら望んで来てても結局農振地域のところはごめんだという事で、開発のネックになっていると思えます。この際ひとつ見直しをする必要があると思えますが、村長のお考えを伺いたい。

齋藤村長 農振地域の見直しのことでございますが、いま県のほうに打診しておりますが昭和五十七年、五十八年を目途として全県的に農振法の見直しをするということをお願いしております。これは村単独ではできないわけで、県の指導というものがありませんので困難な問題でございますが、大いに工場が進出することが容易になるような条件にもっていくべきだと考えており、県の見直しの時期に備えて、その方向に努力したいと考えております。

品之木から

長岡への道路整備を

▼第二点は品之木から猿橋川を渡って長岡市へ通ずる道路ですが、地元住民には大事な道で、現在は道幅がせまく軽自動車も通りできないような状態です。これを改良してもらいたいということで、請願がなされ採択になって村長に送ってあると思えますが、その後長岡市とどのように交渉されましたかお聞かせねがいたい。

齋藤村長 品之木から長岡市川辺に通ずる道路改良は、おっしゃるとおり議会でも採択になり私のほうでも検討を加えておりますが、長岡市との連携の問題もございまして、市の意向を打診して今日に及んでおります。わたしどものほうから行った道の接続が長岡市がまだかまわぬのうちにちばかり先行してもどうかと思えますし、猿橋川改修が目前に迫っております。橋の問題もありますので、改修に呼応してやるべきだということで、今後長岡市と話し合いの上で改良するように努力をしたいと考えております。

とにおいて、来年度は生産調整を上乘せするんだというように報道されておりますが、そうなりますと中之島村は水田ばかりでございますので、農家は経済的に非常にきびしいものがあると思われませんが、生産調整の見直しについてどういうお考えであるかお聞きしたい。

齋藤村長 来年度の生産調整については新聞報道の域を超えません。ときには本年度の二割増くらい減反を強いられるようなことも出ておりましたし、冷害を受けた地域には上積みをするわけにもいかなかった。減反の対応策といいますが、現在村でやっているのは一反五千円の奨励金とか事業に対する補助金というようなことで、これは反別の数字が明示されたなかでみなさんと相談して、できるだけこれにこたえられるような施策を講ずるべきだと考えており、こういう対応策を考えているということはお聞き上げるとは少し時期が早いと思えます。



小林光栄 議員

中之島川改修について

▼中之島川改修のことにつきましては、六月議会終了後の全員協議会のなかで説明があり、県から建設省に提出された図面を見せていただきましたが、その後の状況についてお伺いしたい。



大野久夫 議員

中学校統合に 審議会の設置を

▼小学校の建設は、あと上通小学校を残してありますが、小学校が整備されれば次は中学校の統合問題ではないかという話題も住民の中からではじめております。わたしの調査によりますと、中越地区で一町村一校の統合中学校を持っているところは二十町村あり、その内容もすべての内容において非常に充実しているのが現状であります。中学校教育は大体十二学級から十八学級が一番適正な教育ができるということをお聞きしております。また、ますます中学校の統合が考えられるのではないかとありますが、中学校統合について研究会とか審議会というものを設置する考えがどうかお聞きしたい。

齋藤村長 中学校の建設についてわたしの意見を求められたわけですが、いまおっしゃる通りに中学校の統合を望む声にはだれしも異論をはさむものはないと思えますけれども、いまのところ上通小学校の建設に重点をおいて、財源の蓄積やら、いろいろ構想を練っている段階でありますので、中学校について具体的に懇談会とか審議会というふうなものは、まだ持つべき段階ではないと考えております。

来年度の 生産調整について

▼新聞等により、政府は米価を値上げしたこ

分水町の 高校誘致について

▼このことは直接村の仕事ではありませんが、わたしたちの地域は特に関心を持ち、一年でも早く建設できるよう期待しております。現在、高校の学級減という問題があるなか、今後の見直しについて、隣接町村として協力されておられる村長にお伺いしたい。

齋藤村長 ただいまの見直しにつきましては非常に苦しいということが言えるわけで、与板高校では普通科一学級減、見附高校では家政科一学級減というように、ちょうど子供が少なくなる時点ですが、昭和五十八年になるとひのえうまの次に生れた子供が進学する時期で、生徒が増える時期でもあります。このようなことから、分水高校については公式なところではっきり申し上げられませんが、わたしの感触を申し上げますと昭和五十八年開校をめざして全力を挙げており、いくらか明るい見直しではないかというお考えを申し上げます。



葦沢 桂 議員

憩の家利用者に バスの便を

▼本村では昭和四十八年に老人憩の家が建設されま

したが、村内の老人の中にはまだ一度も行ったことも、どこにあるのかわからないという人がおられると聞いております。そこで問題点をみますと交通面にあるようで、定期バス利用では停留所まで遠く、下車しても刈谷田荘まで道のりがあり、交通安全の面からも大変だと思っております。役場のマイクロバスを支援のない限り、簡単にしかも気軽に利用でき、一人でも多くの年寄りから喜んでいただくよう十分考慮ねがいたいと思っております。財政が許されるならば専用バスの運行を考えていただきたく思います。が、村長の考えをお聞きしたい。

齋藤村長 三沼、西所学区においては、バスの運行もないのでお話しごもつともですが、いまのマイクロバスを運行するなかでは、たしか十人くらいは、村まで希望されれば運行しておりますけれども、村全体ということになりますと、毎日あるいは小人数でもということではできかねると思っております。大体ある程度まとまった人で申し込みを受ければ、現在運転手の働いている時間帯を避けななまでの便宜は、今後できるだけ図りたいと存じますので、専用のバスということはお聞きしたいと思っております。



鈴木安一議員

上通小学校の建設について

上通小学校については、本年度当初予算で危険校舎の調査費が計上されましたが、その調査結果はどのような状態かお聞きしたい。それと実施計画の中で五十六年度に上通小学校建設用地取得費が載っておりますが、そういうなかでの校舎の建設計画の見通しについてお聞きしたい。

齋藤村長 上通小学校の体育館は前から危険校舎であったわけですが、校舎については最近結論がでました。五千点以下ということで、危険校舎に該当するということでもあります。そこで私案ということでお聞き取りをねがいたいと思っております。いずれ案がまればみなさんと相談をして決定づけることとなりますが、まず土地の購入につきましましたは昭和五十六年度に約七反を現在の東側のほうに増反をし、現校舎の南側に新校舎を造り、増反した七反はグラウンドにしたい。新校舎の建設については、中央小、信条小を造って、公債費比率も十一パーセント近いところになっておりますので、簡単にできませんが、おそらく着工は五十八年から五十九年というふうなことになるかと思っておりますけれども、いずれ時期をみて議会と相談をしまして、そういう方向に進めたいということをお聞きしたいと思っております。

押切駅周辺を市街化区域に編入を

上通地区南部は、長岡東バイパスが五十七年秋には開通の見通しと聞かされておられ、押切踏切の県道立体化という話も聞かされておられます。これらを実現したならば同地区は著るしく変わると思われます。村に一方所しかない駅を利用したところの地域開発のために、押切駅周辺の市街化区域編入を早急に行わなければならないと思っておりますが、五十七年、八年の見通しについてお聞きしたい。

一般会計

こういふ方々を訪問したり、ヘルパーもうちの村は三人おりました、ある程度やっているとつりもりでございますが、もっとこうしたほうがいだろうというふうな問題がありましたら検討いたしまして、そういう方向に努力をしたいと考えております。

中央小にナイター施設を

最近野球が盛んになり、本村も多くの野球チームが結成されておりますが、特に働く青年のために夜間スポーツを楽しむ、練習する機会を与えられるよう、ナイター施設の整備をお願いしたい。場所としては中央に位し、健康的な中央小学校が望ましいと思っておりますが、村長のお考えを伺いたい。

齋藤村長 うちの村ではいい悪いは別に、野球のできる場所を十二面持っており、相当恵まれております。いま中央小学校を名指しされましたが、おそらくナイター施設を造ると、周辺の農家は反対すると思っております。もし造るとすれば中之島中学校あたりというふうに考えておられますけれども、場所は別にして維持費の面で電気がばかにならないということから、いまのところ直ちに来年度予算に計上してという気持ちはありません。もう少し先に送るべきではないかと考えております。



一般質問の様子

歳出

区分	予算額	支出済額
1 議会費	45,086	21,456
2 総務費	258,783	115,016
3 民生費	277,958	133,257
4 衛生費	108,654	58,880
5 農林水産業費	93,222	43,969
6 商工費	43,014	29,094
7 土木費	417,923	135,783
8 消防費	74,449	42,025
9 教育費	633,519	530,949
10 公債費	167,936	74,280
11 予備費	800	0
計	2,121,344	1,184,709

昭和五十五年度一般会計の当初予算二十億一千七百九十九万一千円については、広報なかのしま三月号でくわしくお知らせしましたが、今回は九月末現在における五十五年度予算の執行状況をお知らせします。公共事業の補助事業費の決定により、村道改良・舗装費・農林水産業振興事業費、航空測量による調査・図化費を中心として、一億九百五十五万三千円の追加補正を行ない、九月末日における一般会計の予算総額は、二億一億二千三百三十四万四千円となりました。

収入・支出状況は
《収入》二億二千三百三十五万七千円
《支出》一億八千四百七十九万九千円
で、差引三千六百六十四万八千円の現在高となっております。資金繰りは順調に行なわれており、健全財政を維持する見込みであります。

55年度予算の執行状況 —9月末現在—

歳出

区分	予算額	支出済額
1 総務費	14,990	7,588
2 保険給付費	404,239	159,886
3 保健施設費	211	0
4 基金積立金	2,518	216
5 公債費	1	0
6 諸支出金	482	102
7 予備費	12,000	0
計	434,441	167,792

当初四億三千四百三十六万一千円でスタートした予算も、その後、八万円の追加補正を行ない四億三千四百四十四万一千円となりました。九月末日における収入・支出状況は、
《収入》二億二千六百七十七万七千円
《支出》一億六千七百七十九万九千九百九十九円
で、差引五千八百九十七万八千円の現在高となっております。保険給付費のうち、入院費用が見込額より増高の傾向になっておりますが、財源の確保に努め、財政の健全化を図ってまいります。

国保特別会計



齋藤村長 おっしゃるとおり老令人口が増していることは非常にいいことですが、その待遇についてはまだ足りない面が多々あるというご指摘ですけれども、各家庭で孫子のために努力されてきたお年寄りですので、家庭のかたがたのめんどうが一番望ましい訳でございます。制度としては民生委員が



羽賀竹次郎議員

老人に中身の濃い行政を

本村の七十歳以上の老人の人口は九百三十名、九十歳以上の人口は十五名であります。このように高齢化している今日、敬老会、敬老週間あるいは一日村長の訪問なども大切ですが、年間を通じて老人の生活の実態をきめ細かに調査のうえ、就業状況、趣味や悩まれている問題、寝たきり老人の保護等、老後に張りのある生活ができるよう、もう一步中身の濃い行政をお願いしたいが、村長の考えをお聞きしたい。

齋藤村長 前から、わが村ただ一つの駅である押切駅周辺の市街化区域への編入の声があがっておりますが、法からしまして中興野から飛び地で続いていること、面積が少ないということがあいていないこと、新聞報道によりますと調整区域内の飛び地を市街化し、五十ヘクタール以下でも認めるといふことが出ておりますので、時期をみまして検討し、努力をしたいと考えております。

村民広場

みなさんのいこいの場としていただけるよう、企画しております「村民広場」、この欄に登場させたい人の紹介、地域の話題等、情報を係へ連絡下さい。連絡先/役場企画課広報係

夢はアマチュア無線ファミリー

野口 藤田 孫喜さん(二十七歳)

電波を使って、見知らぬ人と交信するアマチュア無線。このアマチュア無線をはじめて八年目という、野口の藤田孫喜さんを訪問しました。
「そもそのキツカケは、中学生時代、アマチュア無線に興味をもって、その影響を受けたんです。」と藤田さん。



その後、昭和四十六年十月に待望の免許を取り、二年後の四十八年十一月に、コールサイン「JAのTTE」をもって開局したとのこと。交信はもっぱら夜で、九州方面や中国、四国方面の人が多く、

新しく仲間入り

転入	大人	社会人	集团生活
 島田 義春(25歳) トラック運転手	 西野 大倉美佐子 会社員	 中西 佐藤かな子(19歳) 事務員	 坪根 いしだかずゆき 園児(4歳)

六月に、分水町中島から来られた星さん。栄村の小池運送に勤め、ほとんど全国各地を廻ったというお婿さんです。村の印象は、家と家との間が広くあり広々している事と、町に近く道路網が発達している事と。来年度の一月下旬には、待望の赤ちゃんが生まれるんですが、男の子の名前ばかり考えています。」と語る、野球の好きな若旦那さんでした。

「うーん、まだ実感がないです。」と、先月八日に二十歳を迎えた大倉さん。今年のお盆に東京からUターンし、現在、長岡市の朝日クレジットに勤めて三ヶ月目とのこと。目下の楽しみは、来年二月に会社の旅行で、初めて外国(グアム島)へ行くことと。モットーは「人にはやさしく、自分には厳しく」と語る、あかぬけた感じの二十歳さんでした。

今町のマックスニットで、事務の仕事をしているというかな子さん。先月、事務の配置換えがあり、またはじめからやり直すとちょっと不満足。目下の楽しみは、五年間続いているペンフレンド(もちろん女性で、現在は大阪に住んでいるとか)と月一、二回やり取りする文通で、「一番ほしいものは車と話す、さばさばした感じのかな子さんでした。」

保育所で一番楽しい時は、「ブロック遊びをしている時と、トランポリンで遊んでいる時。」と答えるかずゆき君。一番好きなおやつはポテトチップスとチョコレートで、給食のおかずでは全部好きだが、特にじゃがいもにんじんが大好きだとか。大きくなったら、パパと同じ会社で仕事をしたいと話す、ハキハキして元気がいっぱいのかずゆき君でした。

「社会を明るくする運動」公開ケース研究会を開催

新潟保護観察所と見附地区保護司会の主催で、本村でははじめての「公開ケース研究会」が、去る十月二十三日に村公民館で開催されました。
この研究会は、「社会を明るくする運動」の一環として、非行に陥ったある少年のケースを取り上げ、参加された皆さんと一緒に非行の原因等諸問題について考え、話し合うことにより非行の防止策や、立ち直りを助けるためにはどうしたらよいか等について意識を深め、それぞれの地域社会の浄化をめざして、



公開ケース全体研究会の様子

活動して行くことを目的としています。
当日は、「暴走族と呼ばれた少年」というケースを取り上げ、約七十人の参加者が四グループに別れて、研究討議を行ないました。

不用品セール売り上げ 十八万三千十円

社会福祉協議会に

第三回目を迎えた村民祭が、去る十月十九日村公民館で盛大に実施され、村消費生活協会の、村青年農業研究会、商工会の方々による不用品セールの売り上げ金はなんと十八万三千十円と、昨年比一七千円の増となりました。
ふだん使わないで眠っている衣類などをご寄付いただき、まだまだ使えるものを百円、二百円、



盛況だった不用品セール

円、三百円……という値段をつけてみなさんから買っていただいたものです。
なお、この十八万三千十円は社会福祉協議会に寄付された。紙上を借りて奉仕して下さいました方々には厚くお礼申し上げます。
本当にありがとうございました。

第1回いからしの里作品展覧会

〈作業棟落成記念〉

- 日時/11月23日(日) AM10:00~PM 4:00
11月24日(日) AM10:00~PM 3:00
- 場所/三条市大字月岡いからしの里作業棟
多数のご来場をお待ちしています。

歳末たすけあい運動 ひとの心の暖かさ 53億8千万円

「ひとの心の暖かさ——歳末たすけあい」——今年も恒例の「歳末たすけあい運動」が十二月一日から三十一日まで、一カ月間にわたって行われます。
この運動は赤い羽根の共同募金運動(十月、十二月)の一環

として、十二月に限って毎年行われていくもので、生活が困難な世帯や災害被災家庭、ひとり暮らし老人あるいは社会福祉施設利用者に対し、「みんなをそろって明るいお正月をむかえられよう」と、物心両面の援助をしよう

というものです。
こうした善意による「たすけあい運動」の起源は、古く「講」にまでさかのぼるといわれ、庶民の互助精神は脈々と今日まで受け継がれて、毎年多くの恵まれない人々に喜ばれ、効果をあげています。

「お手伝いをして、もらったお小遣いをためました。気の毒なお友達にあげてください」とあきかんを利用した貯金箱いっぱいのお金を持参する小学生や毛布などのかたちで配分されま

年間でこれだけ」と、五千円余りを送ってきた主婦など、昨年は全国で、目標額の四十七億三千五百万円を大きく上回る六十二億四千六百万円のお金が寄せられました。このうち必要経費を除いた約六十一億一千八百万円は、社会福祉協議会などを通じて生活困難世帯(二十三億八千万円)、ねたきり老人(十二億六千万円)、精薄・肢体不自由児(八億七千万円)などに、越年資金や正月支度金、日用品、毛布などのかたちで配分されま

昭和56年度の学生を募集します!!新潟県農業大学校
詳しくは産業課または嵐南農業改良普及所(☎02586-6-2730)へ

一互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係を作ろう— 中之島村人権擁護委員
第32回人権週間(12月4日~10日) 飛鳥井義賢 <中野東> 吉藤晃威 <大口>

27チームが出場

—第28回村内一周駅伝競走大会—



文化の日の11月3日、今年で28回目を迎えた村内一周駅伝競走大会が、季節風の吹き荒れる中、27チーム出場して午前9時に上通小前をスタート。
全長27.5km・7区間を力いっぱい走る選手に、沿道の人々から盛んな声援・拍手が送られていました。

- 総合優勝** 上通 B
1時間37分28秒
- 中学生の部**
1位 中之島北中 A
2位 中之島中 A
3位 中之島北中 B
- 青年の部**
1位 信条青年会
2位 信条青年会 Jr
3位 中条青年会
- 一般の部**
1位 上通 B
2位 中条東チーム
3位 西野走ろう会
4位 中野公民分館
5位 中野東
6位 近藤鉄工(株)

◀ゴールの風景

▼表彰式風景



55年度 中之島村 遺族会慰霊祭

—中之島村公民館で10月28日開催—



「青少年健全育成新潟県一周キャラバン隊」来村



内閣総理大臣からのメッセージを読むキャラバン隊の青年代表 —11月4日 役場前—

カネマ



(審査風景)

◀第八回錦鯉品評会

—十月二十六日・役場前で開催—

十月十四日、恒例の畜産共進会が中条支所で開催され、和牛では田辺正一さん(中条第二)、ホルスタインでは田辺正男さん(中条第二)、未經産牛では林与一郎さん(中条第一)が、それぞれ最優秀賞に選ばれました。



農業祭

中之島村農協主催による、第四回農業祭が10月26日、旧中野小・中野支所で盛大に開催されました。



▲新鮮な農産物の品評会と即売会場
歌あり、踊りありのアトラクション

※取締法の改正について、詳しくお知りになりたい方は、最寄りの警察署にお問い合わせください。



銃または空気銃について所持の許可を受けてから、三年以上使っていないと認められるときは、その許可が取り消されることになりました。
これは危害予防のうえからも必要な銃を、できるだけ排除しようという考え方が反映したことです。

④ 三年以上使っていない銃は、所持許可が取り消されます

③ 銃砲の保管に関する規則が強化されました

② 技能検定や射撃教習を受けるためだけに、猟銃を所持することはできなくなりました

① 所持の許可基準が整備されました



▽虚偽の申請者は不許可
銃砲・刀剣類を所持するために必要な許可申請書や添付書類中に虚偽の記載があったり(十万円以下の罰金に処せられます)、重要な事実の記載が欠けている場合は、許可されないことになりました。

▽不法所持者は刑了後も五年間不許可
銃砲・刀剣類の所持許可の取消処分を受けた者及びこれらを不法に所持していた者は、処分または刑了後五年間は許可されないことになりました。

十一月十五日は狩猟解禁の日です。ハンターのみなさんにとっては待ちに待った季節ですが、銃砲刀剣類所持等取締法の一部が改正され、所持許可の基準がこれまでより厳しくなり(五十五年六月二十一日から実施、新

《十一月十五日狩猟解禁日》
銃砲刀剣類の所持・保管基準が厳しくなりました





あなたでいいよ

火事を出すのも防ぐのも

秋季全国火災予防運動

11月26日～12月2日

恒例の「秋季全国火災予防運動」が、来たる11月26日～12月2日までの一週間、①老幼年者及び身体不自由者等の身体的弱者を中心とする焼死防止対策の徹底を図ること、②火災予防思想をより普及させるために民間の防火組織の一つである少年消防クラブを育成強化すること、③防火対策として重要な役割りを担う防火管理体制の整備推進を図ることの三点を重点目標として実施されます。

それ出ているが、約一億二千万円もの財産が「灰」となって消えています。

これからは、火を多く使う時期に向かいます。火の取り扱いには、十分注意しましょう。

村の出火件数

年	件数	年	件数
40	6	48	4
41	4	49	5
42	7	50	2
43	4	51	1
44	7	52	5
45	3	53	4
46	4	54	4
47	3	計	63

主な出火原因

原因	件数
①農機具	10
②煙突	9
③こたつ	7
たばこ	5
残火の不始末	5
こんろ	5
その他	22
計	63

「交通安全夕暮れ作戦」を実施中

県内の交通死亡事故は六月以来増加を続け、依然として鎮静化のきざしがみられず、既に一七二人(十月二十九日現在)が死亡し、きわめて憂慮すべき状況であります。特に今年には交通弱者の死亡事故が多発(九月末で二八八人死亡、対前年比十三%増)して問題となっており、昨年十一月中には、老人九人・歩行者十二人の死亡事故が起き、年間で最も多発した月でありました。県警察では現在「交通安全夕暮れ作戦」を実施中ですが、ドライバーは安全運転を、歩行者や自転車乗りは交通事故にあわないよう

気をつけましょう。また、交通事故は夕方からが一番危険です。車は早めにライトをつけ、歩行者は目立つ服装などを心がけましょう。悲惨な交通事故を防ぐには、家庭での注意がたいです。家族みんなで「交通安全事故をおこさないように」注意しあってください。



昭和五十四年中の全国火災概況によると、出火件数が六三、八〇五件で前年に比べ六、六一八件(九・四%)の減少となった反面、火災による死者は二、〇七二人で前年に比べ二一八人(一・八%)の増加となっており、火災種別ごとの死者の状況では、一般住宅及び共同住宅等の建物火災によるものが、一、四五四人(全体の七〇%)と依然多くなっています。本村でも、今年に入ってから四件の火災が発生し、死者こ

悪質消火器販売者にご注意ください

消火器を言葉たくみに、あるいは強迫まがいに高額で売りつける、悪質な消火器販売者が最近また現われはじめました。村や消防で、これまで何度も注意を呼びかけてまいりましたが、被害を受けられる方が後を断ちません。

次の点にご留意いただき、悪質販売者にひっかからないよう、十分気をつけてください。

- 一般家庭では、消火器を置かなければならないという法律的義務はありません。
- 消防署が消火器を販売するようなことは絶対にありえません。
- お年寄りの留守番宅が狙われやすい。
- “変だな？”と感じたら、代金を支払う前に消防署が警察署へ連絡してください。

村内で買った
たばこ二箱で
二十六円三十二銭
村に入る
消費税

五十四年度中に中之島村に入ったたばこ消費税は二千七百九拾六万九千円です。皆さんが村内で買ったたばこの積み重ねです。

あなたの買った一箱が殖すたばこ消費税 たばこは村内で買しましょう。

中之島村

昭和五十五年国勢調査

懸賞募集の当選者発表!!

～一位は山田二美子さん(中条中)～

「広報なかのしま」八月号で懸賞募集しました。昭和五十五年国勢調査の中之島村予想人口。五十八名の方から応募いただき、大変ありがとうございました。

このたび、総人口の概数結果が出ましたので、当選者を発表いたします。

田二美子さんが一位に当選されたのははじめ、次の方が当選されました。

おめでとございました。

一位(賞金五、〇〇〇円) 一名
山田二美子(中条中) 一、〇五二人

二位(賞金三、〇〇〇円) 二名
室橋 幸美(中条第一) 一、〇六二人
山田三和子(中条中) 一、〇六八八人

三位(賞金一、〇〇〇円) 三名
佐藤 トミ(中条第二) 一、〇六八八人
山田日枝子(中条中) 一、〇八四八人
入沢 礼子(中条野) 一、〇八七八人

税務コーナー

サラリーマンと年末調整!!

サラリーマンの給与についての所得税は、その年最後に支払われる給料やボーナスで、毎月の給料から源泉徴収された税額の精算が行われます。

この精算手続を「年末調整」と呼んでいます。年末調整は、サラリーマンにとって確定申告に代る大切な手続ですから、扶養控除等申告書や保険料控除申告書、住宅取得控除申告書などに、必要な事項を正しく記載して、かならず勤務先へ早めに提出するようにし

てくださいます。なお、医療費控除のように年末調整によっては控除できないものもありますので、詳しいことは税務課、または税務署・税務相談室へおたずねください。



一般の方も
お気軽に参加!!
スキー映写会 & 講習会

とき/11月23日(日)
午後6時30分より

ところ/中之島村公民館大広間
主催/中之島スキークラブ

12月15日 受付開始

年賀状の差し出し準備を

12月15日 受付開始

昭和55年国勢調査 中之島村部落別人口概数

部落名	世帯	人口	男	女
中之島第一	67	285	142	143
第二	73	280	135	145
第三	37	186	85	101
第四	45	197	90	107
第五	54	230	120	110
第六	36	135	57	78
第七	75	309	159	150
五百刈	12	57	29	28
猫興野	47	199	94	105
真弓	12	67	34	33
野口	11	57	30	27
鶴亀	29	145	68	77
粕島	18	95	43	52
灰島	40	207	100	107
中興野	23	109	55	54
大曲戸	33	182	85	97
坪根	11	68	33	35
池之島	49	243	121	122
駅前	34	128	60	68
押切思川	23	127	63	64
大口	112	563	265	298
杉之森	21	98	44	54
高畑	18	106	56	50
横山	31	172	82	90
大保	20	115	54	61
品之木	21	118	57	61
関根	6	27	13	14
島田	33	178	85	93
長呂	25	132	68	64
宮内	15	81	42	39
宮内下村	8	48	23	25
並木	19	112	57	55
中野東	63	333	171	162
中野中	52	252	128	124
横野	17	89	41	48
中野西	49	260	130	130
興野	29	157	73	84
宮内丁	15	74	40	34
福原	39	201	99	102
末宝	29	157	81	76
福島	7	45	19	26
狐興野	21	116	53	63
中条第一	73	338	166	172
中条第二	46	234	110	124
中条中	58	271	129	142
中条東	40	200	99	101
中条宮村	64	307	154	153
上沼新田	31	170	83	87
真野代新田	49	247	122	125
中条新田第一	43	242	111	131
中条新田第二	58	269	134	135
中条新田第三	47	233	107	126
下沼新田	73	394	196	198
西野	51	250	123	127
西野新田	12	69	37	32
中西	55	292	137	155
西高山新田	21	111	56	55
六所	39	204	106	98
赤小沼	45	242	123	119
大沼新田	34	204	91	113
合計	2,218	11,017	5,368	5,649

*昭和50年の総人口概数は、11,116人でしたので、5年間で99人の減となりました。